

令和2年4月6日 教育委員会会議録

- 1 日 時 令和2年4月6日（月） 午後1時30分～午後2時
- 2 場 所 市役所8階 教育委員室
- 3 出席委員 荒澤賢雄教育長、無着道子委員、白鳥樹一郎委員、中村篤委員、熊坂香織委員
- 4 出席者 伊藤尚之教育部長、奥山泰子管理課長、田中克学校教育課長、大山敬弘スポーツ保健課長、事務局（管理課職員）

会議次第

- 1 開 会
- 2 議 案
第18号 山形市立小中高等学校の新学期開始の延期について
- 3 閉 会

会議録

- 1 開 会 教育長

- 2 議 案

教育長…それでは、議案第18号「山形市立小中高等学校の新学期開始の延期について」事務局から説明をお願いします。

＜田中学校教育課長から資料に基づき説明＞

教育長…ただ今の説明について、意見・質問等はあるか。

無着委員…報道では山形市には現時点でまだ感染者は出ていないが、いつ感染者が発生してもおかしくない状況になっている。このような中で、子どもの健康・安全が第一であるため、今回の対応は尊重したい。

どのような対応にも保護者の不安・心配は尽きず、多くの問い合わせがあると思われる大変であるが、丁寧に対応していただき、安心できるようにしてもらいたい。

白鳥委員…現在の状況からは、新学期開始の延期という対応は止むを得ないものであり、また、年度当初の転入が多い時期を考えると、4月15日までの延期も妥当な期間である。

この期間に懸念されることは、学童クラブを利用していない子どもたちに対する

学校の受け入れ体制をどうするのか、中間登校日を設定して児童生徒に今後の生活の指導をするのか、家庭学習が可能となるようなプログラムをどのように活用するのか、さらに、休校期間中に勤務が無くなる非常勤講師の給与等の対応をどうするのか、等が挙げられる。

このような対応について、保護者等にしっかりと周知をしていただきたい。

田中学校教育課長…委員からあった懸念事項については、現状、次のように対応する予定である。

学童クラブに登録していない子どもへの対応については、登下校に注意することを条件とし、学校を開放して受け入れ、居場所をつくることを検討したい。

中間登校日の設定については、4月15日まで休校とする現状では考えていないが、今後、休校期間が延びることになれば検討していくことになる。

家庭学習へのアプリ・プログラム活用については、市教育委員会において情報収集を行い、適宜、情報提供していく。

非常勤講師の休校期間中の待遇については、本人の不利益にならないような対策を、県教育委員会と相談して対応していく。

中村委員…児童生徒にとっては、明日から始業式の予定であったものが再度休校となり、通算して1ヶ月以上の在宅となったため、不憫に思われる。しかし、この状況を考慮すると、致し方ない対応であり、この方針には賛同する。

提案になるが、再開後に予防医学に関する学習を行ってはどうか。これまで感染症は100年に1回は流行してきた歴史もあり、その経緯や予防法などを、探求学習等で児童生徒に伝えることも重要である。

また、最近、学童クラブを訪れる機会があったが、子どもが非常に多く活動しており、いわゆる「3密」の状態であった。密集度ではむしろ学校の方が安全ではないかと思う程であったため、対応を検討してほしい。

教育長…予防医学の学習については、新たな視点であり、大変良い意見をいただいた。健康教育の一環として組み込むなど、検討したい。

また、学童クラブの「3密」状態については解消すべき課題である。子どもたちの居場所づくりと併せて、学校開放への協力を要請したい。

熊坂委員…状況を考えると、新学期開始の延期は仕方がない対応である。

個人的には、感染拡大の状況は情報として把握しているが、身内に感染者がいないため、自分は大丈夫と考えて、未だに危機感が薄いのではないかと感じている。

感染防止に係る対応も、ネット等で様々な情報が氾濫しており、正しい情報が何か判断できず、踊らされている状況である。個人的には、県・市等からの情報が正

しいものであると認識しており、その意味でも周知するべきところはしっかりしていただきたい。

周知の方法であるが、今回も「〇月〇日までの対応」と期限を区切っているが、感染が拡大している現状では、今後も対応期間が延長する可能性が十分にある。対応期間が延長されると予定変更に対する落胆や不満が大きいため、延長の可能性も示唆するような周知及び対応の準備をしていただきたい。

また、休校期間が延びることにより、学校生活に加えて部活動も出来ず、子どもたちは在宅生活ばかりで体力も有り余り、ストレスが溜まっている状態である。子どもたちだけでなく、祖父母等も含めた保護者もストレスが溜まっているため、心のケアが非常に重要であると考えている。

田中学校教育課長…休校期間の周知だが、文書に「日々の状況変化によっては対応の変更を依頼する」と記載はしているが、記載場所を文頭にする等、伝わりやすい方法を検討していきたい。

教育長…今回の新学期開始の延期の対応については委員の皆様からご理解を得たものと考えている。しかし、この対応により懸念されること、心配されることも様々生じてくる。今後の対応の参考とするため、ご意見を伺いたい。

熊坂委員…部活動については、中止に伴って、公園などで個別に練習している生徒を見かける。体を動かさないと精神的にもつらいが、こういった活動についてどこまでが許されていて、どこからが禁止になるのか、判断が難しい。

また、在宅期間が長くなり、例えば、親が子どもの食事を準備することへのストレスも溜まってくる。そのような悩みを電話で相談する機関なども必要になってくるのではないかと。

白鳥委員…運動については YouTube に様々な運動の動画がアップされている。室内での運動に限界はあるが、子ども自身が工夫して対応することが大事ではないか。

田中学校教育課長…公園など、屋外における、少人数によるストレス解消を目的とした運動は引き続き禁止しない方向のようである。

教育長…休校による学習保障も大きな課題である。

中村委員…春季休業中の課題は今日で終了したが、明日から4月15日までの分の課題が無い状態である。今後はどのように対応するのか。

田中学校教育課長…昨年度の教育課程分については、春季休業中の課題として児童生徒に配布した。今後の分は学校のホームページへの掲載やメールを利用して、課題を保護者に周知する方法が考えられる。

しかし、新学期分の新しい教科書やワークブックは配布していない。家庭訪問も出来ない状況のため、配布の方法を検討していかなければならない。

教育長…この状況が収束せず、新学期開始が4月16日以降に延期となった場合は、登校日を設定して学習の指示や教科書等の配布を行うことを検討したい。

無着委員…ホームページやメールを利用することが難しい保護者もいると聞くので、そのようなケースへの配慮もしていただきたい。

また、報道にもあったように、在宅期間が長くなることによって児童虐待が発生することも心配されるが、そのようなケースは生じていないか。

田中学校教育課長…現時点では新規の虐待事案は聞いていない。しかし、現在は休校しているため、そのような事案が見えない、把握できないことが心配である。

熊坂委員…教職員が国内の感染流行地域に移動していた事例は把握しているのか。

田中学校教育課長…確定数ではないが、山形市内で50名弱が該当する。

4月15日まで新学期を延期したことによって、全員が帰県の翌日から2週間とされている在宅勤務期間を消化することになり、再開後の勤務に支障は無い。

教育長…他に意見、質問等はないか。

なければ議案第18号について、原案のとおり承認してよろしいか。

<各委員より「はい」の声>

教育長…議案第18号「山形市立小中高等学校の新学期開始の延期について」は原案のとおり承認された。

4 閉 会 教育長